

備前市施策評価シート

【平成31年度作成】

施策名 (小項目)	子育て不安の解消	決算書 P110, 116	(款)3 民生費 (項)3 児童福祉費 (目)1 児童福祉総務費, 2 児童措置費, 5 児童福祉施設費
コード	01-01-04	作成者	子育て支援課長 眞野 なぎさ (tel 64-1853)

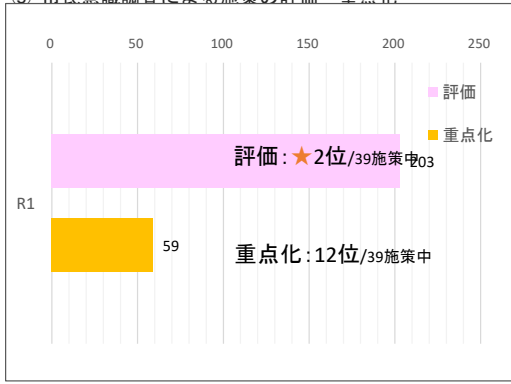
この施策の アピール ポイント	子どもを安心して産み育てる環境づくりを目指します。
-----------------------	---------------------------

この施策の 平成30年度の 施政方針	子育て不安の解消につきましては、母子保健サービス、子育て支援サービスの両方を包括的なサービスとして、妊娠前から子育て期にわたり切れ目なく提供するため、子育て世代包括支援センターを設置し、マネジメント機能の強化と窓口のワンストップ化を図ってまいります。 また、育児と就労の両立支援として、新たに吉永病院において病児保育を開始するとともに、岡山県病児保育事業実施施設の広域相互利用協定へ参加することにより、保護者の勤務地など、近隣市町からの受入れや他市への預け入れも可能となり、子育て中の方に寄り添った多様な働き方の支援を行ってまいります。 児童虐待防止につきましては、組織の機能充実や関係機関との連携強化を図るため、迅速かつ総合的に適切な対応ができるよう体制づくりを行ってまいります。 また、子どもの貧困対策を推進するため、子ども食堂や居場所づくりなどの取組について検討してまいります。
--------------------------	---

<備前市総合計画の内容から記載する>

① 政策の体系	基本構想 (大項目)	重点施策「教育」
	基本計画 (中項目)	将来を担う人材が育つまち
② 対象と目的 (誰のために、何のために)	次代を担う子どもが心身ともに健やかに成長するように。	
③ 現況と課題 (総合計画から現在の課題を抽出)	女性の社会進出や核家族化が進み、地域のつながりが希薄化する中で、子どもの保育・教育への保護者ニーズや価値観は多様化するともに、基本的な生活習慣や社会性などの人間形成の基本となる家庭教育力が低下しています。 そうした中で、仕事と家庭の調和がとれる環境づくりや家庭教育の支援を進めるとともに、地域で子どもを守り育てていく環境づくりが求められています。	
④ 施策展開 (総合計画の施策部分から、実施する施策を抽出)	<ul style="list-style-type: none"> 孤立化や育児不安の解消 (子育て支援拠点施設) 育児の援助 (一時保育) 子育てと仕事の両立支援 (放課後児童クラブ、病児・病後児保育) 児童虐待の防止 (子ども家庭総合支援拠点) 子どもの貧困対策の推進 (居場所づくり) 子育て世帯の負担軽減 (出産祝金・子ども医療費) 	

⑤ 市民意識調査による施策の評価・重点化



評価結果の分析
子育て施策が、39施策中2位に評価されているということは、さまざまな施策が市民に認知されてきている成果と言える。特に、子ども医療費の無料化に対して評価が高い。

重点化要望の分析
重点化については、引き続き、これまでの施策を継続し、また、ライフスタイルの変化に伴う多様なニーズに対応するための施策展開が必要と考える。

⑥ 施策成果指標 (基本目標・基本施策・施策意図から設定)

施策に対する成果指標名	単位	過年度実績		評価年度 H30	成果指標の計算式の説明 ベンチマークの説明	目標値	
		H28	H29			R4	R2
成果指標 安心して子どもを産み育てることができると感じている市民の割合 (市民意識調査)	目標	%	50.0	50.0	市民意識調査結果による数値	R4	50.0
	実績	%	38.9	未実施		R2	60.0
	達成率	%	77.8	—		—	—
	ベンチマーク						
参考指標 ① マイ保育園サポート登録者数	目標	人	50	50	1~4歳までの児童を対象に1人3回まで無料で一時保育サービスが利用できる制度【幼児教育課】	R2	50
	実績	人	45	35		R4	60
	達成率	%	90.0	70.0		44.0	
	ベンチマーク						
参考指標 ② 一時保育利用者数	目標	人	1,200	1,200	一時保育利用年間延人数 (3園) 【幼児教育課】	R2	1,200
	実績	人	1,098	640		R4	1,300
	達成率	%	91.5	53.3		96.7	
	ベンチマーク		882	875		848 (保・幼・こ) 全園児数 (3.1現在)	
参考指標 ③ 子育て支援拠点施設延べ利用数 (1か月あたり)	目標	人	1,900	1,900	市内5か所の子育て支援拠点施設の1か月あたり延べ利用人数 (出張ひろば除く)	R2	1,900
	実績	人	1,953	2,238		R4	2,000
	達成率	%	102.8	117.8		136.5	
	ベンチマーク		5	5		5 市内子育て支援拠点の数	
参考指標 ④ 放課後児童クラブ登録児童数	目標	人	330	330	放課後児童クラブ登録児童数 (3月末現在)	R2	350
	実績	人	284	327		R4	350
	達成率	%	86.1	99.1		105.2	
	ベンチマーク		1,377	1,335		1,333 市内小学校全児童数 (5.1現在)	

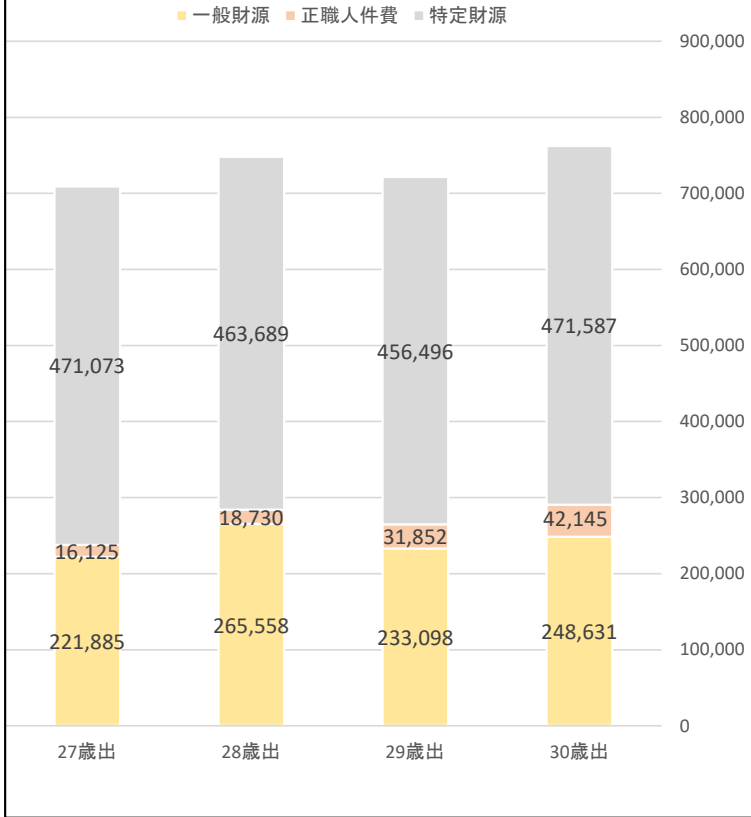
⑦ 目標達成に必要な新規事業 (施策構成事務事業以外の事業) 及び連携させる他部署の事業

実施主体	新規に必要な事業・連携が必要な事業	説明・期待される効果
子ども応援フェスタ実行委員会	子育てイベントの開催	イベント等を通じて地域で子育てを応援・支援する機運を高める。
市民協働課	タクシーチケット交付	妊産婦に対するタクシーチケットの交付を検討することにより、出産に対する不安感の軽減が期待される。

⑧ 施策の評価

項目	評価	5:非常に高い 4:高い 3:どちらともいえない 2:低い 1:非常に低い	
		判断理由 (なぜ、そのランクと評価したのか)	
1 <成果指標の妥当性> 施策の目的・成果を表現しているか?	4	子育て世帯への支援のため、さまざまな施策 (事務事業) を展開している。「一時保育利用者数」は認定こども園の整備と保育料の無償化により未就園児が減少していることから利用者数は一旦減少したが、待機児童の発生により増加に転じている。「放課後児童クラブ登録児童数」は、年々増加傾向にあり、小学校全児童数における割合も高くなってきており、施策の重要性が認められる。	
2 <事業構成の妥当性> 手段は最適か?	4	子育て世帯に対する負担軽減と、地域における子育て支援を主眼に実施している本事業は、次代を担う子どもたちが心身ともに健やかに成長するための事業であり、事業構成は適正であると考えられる。	
3 <施策の有効性> 指標分析、評価年度・中長期の達成見込みは?	4	少子化の進行や教育・保育ニーズが多様化するなか、今後も市民ニーズにあった施策を実施していくことが必要である。	
進行年度 (H31年度) の取組内容 (課題解決状況)		<ul style="list-style-type: none"> 子育て世代包括支援センターと子ども家庭総合支援拠点を一体的に運営し、妊娠から子育て期までの切れ目ない支援の充実を図っています。 引き続き岡山県病児保育事業実施施設の相互利用に関する協定に参加。また、市立吉永病院で病児・病後児保育施設を整備し、6月から開設しています。 子どもの居場所づくりに取り組む団体への支援を行います。 	
翌年度 (R2年度) の取組目標		<ul style="list-style-type: none"> 子育て世代包括支援センター及び子ども家庭総合支援拠点を充実させるため、職員のスキルアップと体制の強化を図っていきます。 地域子育て支援拠点 (利用者支援事業) の内容の充実を図っていきます。 放課後児童クラブの運営充実を図るため、さらなる支援を行います。 子どもの貧困対策の推進のため、子どもの居場所づくりに取り組む団体への支援を拡充します。 	
二次評価者コメント		備前市の子育て施策が市民をはじめ多くの人に認知され、0~4歳児の人口は4人であるが増加した。増加したのは県内15市で備前市だけである。引き続きこれまでの施策を継続するとともに、「子どもの居場所づくり」への取り組みを充実させ、備前市が子育てしやすいまちであることもっとアピールしてください。	基本施策への貢献度 4 やや高い
役職 氏名	保健福祉部長 山本 光男		

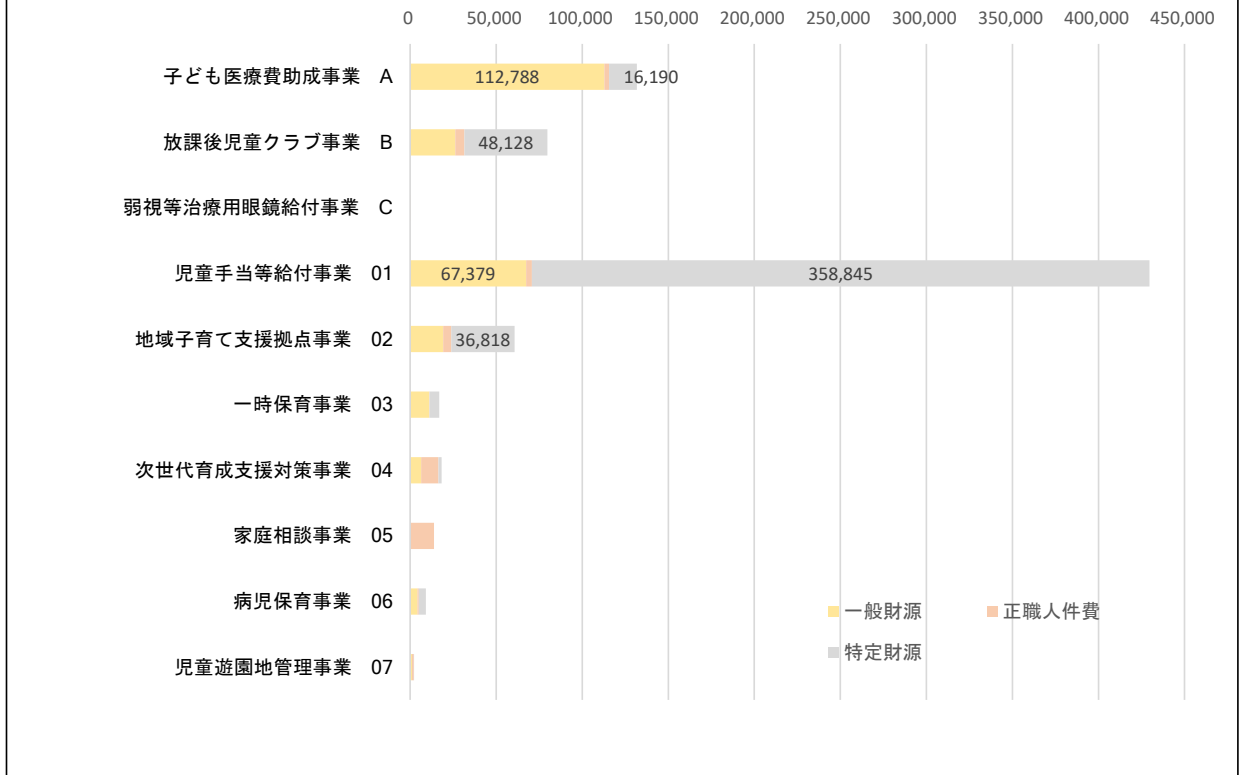
事業費推移(千円)



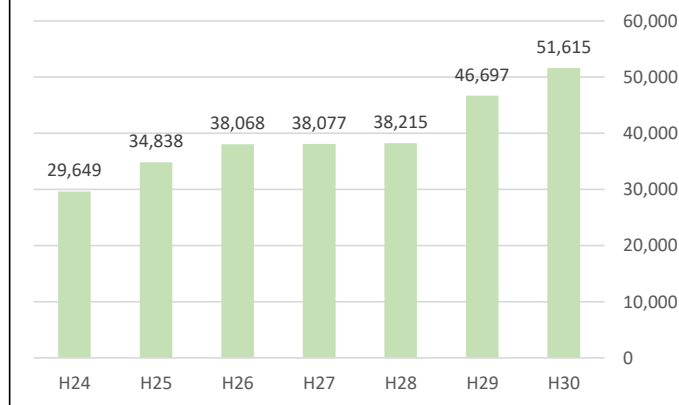
事業費
特定財源

7.6 億円
4.7 億円

事業費分析(千円)



放課後児童クラブ利用者数



子ども医療費支給件数

